

唱歌・童謡のルーツ、讃美歌を訪ねて
ご一緒に歌いましょう！

初秋のチャペルコンサート

なつかしい唱歌・讃美歌と聖書のメッセージ

9月19日 | 土 | 19:00 ~ 21:00

会場：津島佐織キリスト教会

入場無料 (自由献金あり)

■ 曲目 ■

- ・ 真白き富士の根
- ・ シャボン玉
- ・ 星の世界
- ・ 荒城の月
- ・ 紅葉

他

—プロフィール—

◆ 森岡泰子 (オルガニスト)

聖書宣教会神学舎教会音楽科、名古屋芸術大学短期大学音楽科ピアノ専攻卒業。パイプオルガンを岳藤照子、矢吹綾子、合唱・声楽を飯島千雍子、指揮を植木紀夫の各氏に師事。名古屋エヴァンゲリウム・カントライ (福音聖歌隊) 指導者、中部学院大学チャペル奏楽奉仕者、J E C A自由ヶ丘キリスト教会教師。讃美歌・聖歌、教会音楽などを通して聖書の神を伝える活動を行っている。

◆ 名古屋エヴァンゲリウム・カントライ (合唱)

東海地方の諸教会から集まるクリスチャンによる聖歌隊。賛美を通してキリストのみことばを伝えている。

◎ 主催・問い合わせ

同盟福音 津島佐織教会 (地図は裏面)

津島市寿町 41-3 TEL(0567)26-5059

◎ 協賛

NPO法人 共生会



妙なる歌声が神の力を呼び込む

津島佐織キリスト教会 協力牧師 鴨下 彌わたる



名指揮者・小沢征爾氏の初めと今

NHKの朝ドラで『マッサン』が放映されていた頃、有働アナとイノッチの司会で始まる『朝イチ』の番組に、小沢征爾氏がゲスト出演されました。

お話しが進み、音楽家になる初めは、お母さんがクリスチャンで兄弟は教会に連れていかれて、クリスマスだったかの時に讃美歌を四部合唱で歌ったのが音楽に興味を持つきっかけであったと言う事でした。

番組が終わるとき、有働アナが『最後に、今ハマっている音楽は何ですか?』と尋ねますと『讃美歌です』とのお答えが帰ってきました。

カツオ節は薫製にする時 室内で音楽を聞かせる

同じくNHKテレビ3月26日の『朝イチ』では、タレントの照英さんがカツオ釣りの船に乗るシーンでカツオが捕獲されて、カツオ節作りへと場面が変わりました。

煙の部屋でカツオが薫製にされるときに何と音楽が流されていました。カツオ節作りの達人は、音楽を聞かせることで良いカビが吹き出し、美味しい味を出すというのです。そういえば、牛乳しぼりのミルクタイムにも、音楽を流すと良質の牛乳を多く出すのだそうです。ですから、私どもの精神的なキズを癒すのに、楽しい音楽や、笑いや楽しみは、大きなやし効果があると言うお医者さん方の証言があります。

滝 廉太郎と『荒城の月』

この度のコンサートでも福音歌手の森岡氏は、童謡や日本人の懐かしの歌を歌って下さるとのことですが、滝 廉太郎と『荒城の月』の詩人、土井晩翠に関するお話を東海ラジオの(月～土)毎朝5時40～45分放送の『世の光』番組で聞きました。

滝 廉太郎は明治18～36年の生涯ですが、東京音楽学校を卒業し1901年にドイツのライプツィヒに留学し、『荒城の月』『箱根山』『鳩ポッポ』などの作品を残しました。留学前の1900年には、東京麹町にあった博愛教会へ音楽学校の同級生である高木チカさんに誘われて出席して、元田作之進牧師より洗礼を受けました。

『荒城の月』の詩人土井晩翠の夫人と娘の照子さんもクリスチャンで、娘は結核を患い27歳で召天の折りに、『お父様。私の死を悲しまないで。私は永遠の命を受けたので天国に行くのです』と、語りました。『荒城の月』は、ロシアとノルウェーでは讃美歌となって歌われているそうです。

聖書のことば

『主に新しい歌を歌え。タンバリンと豎琴をかなでて、主をほめ歌え。

主は、ご自分の民を愛し、救いをもって貧しい者を飾られる。』

(詩篇149篇1、3、4節)

同盟福音 津島佐織キリスト教会 名鉄「津島駅」から徒歩10分

〒496-0829 津島市寿町41-3 TEL&FAX 0567-26-5059

主日礼拝

[毎週日曜] あさ10:30-12:00

賛美歌をうたい、聖書のメッセージを聞きます。初めての方や、クリスチャンでない方も大歓迎です。

聖書の学びと祈り会

[毎週木曜] あさ10:30-12:00

リラックスした雰囲気の中で聖書を学びます。祈りや賛美の時もあります。クリスチャンでない方も大歓迎です。お気軽にご参加ください。

聖書入門クラス

洗礼準備会

面談・家庭集会など

[随時・応相談] 詳しくお知りになりたい方は、お気軽に牧師までおたずねください。

